

# 総合計画わくわくワークショップ 報告書

【開催日時】 平成23年1月25日(火)19時00分開始

【開催場所】 湧別町文化センターTOM大ホール

【参加者とグループ分け】

参加者60名、別紙名簿のとおり。 見学者11名

【テーマとグループ分け】

	テーマ 子供やお年寄りが安心して地域で暮らすには何をすべきか？	テーマ 産業振興を進めるには何をすべきか？	テーマ 観光振興のため何をすべきか？
A			
B			
C			
D			
E			
F			
G			

は全体発表したテーマ。

【検討の状況】

各グループで、それぞれ割当の2つのテーマについて検討を行いました。

【検討の結果】

別紙のとおり各グループから全体発表又は報告がありました。

参加者名簿(当日実績) 計60名

グループ	一般参加者		役場ワーキングチーム	
	氏名		氏名	
A	工藤健(登栄床)	漁業(総計審議委員)	吉竹司	(本所)税務課補佐
	高柳雅一(北兵村二区)	農業(総計審議委員)	梅津茂樹	(本所)総務課補佐(サブリーダー)
	柳沢勝彦(錦町)		松井薫	(本所)上湧別農業委員会主幹
	草薙誠(登栄床)	漁業(漁組青年部長)	森野博之	(支所)福祉課支援係長
	横尾俊雄(北兵村一区)	農業(JA えんゆう玉ねぎ振興会)	大塚幸夫	(支所)産業振興課商工林務係長
	5		5	
B	為広拓也(芭露)	湧別町商工会青年部	黒岩仁	(本所)建設課補佐
	野津哲弥(緑町)	湧別町商工会事務局	安藤克巳	(本所)農政水産課補佐
	工藤雄希峰(登栄床)	漁業(漁組青年部)	佐藤敏正	(本所)まちづくり推進課補佐
	小形卓矢(登栄床)	漁業(漁組青年部)	青山賢治	(支所)産業振興課水産係長
	中尾和也(川西)	商店		
	5		4	
C	原田英幸(栄町)	湧別町商工会青年部	帰山勝	(本所)水道課補佐
			田中仁	(本所)子ども支援課補佐
	鈴木義広(中湧別北町)	上湧別町観光協会	佐々木和也	(支所)福祉課補佐
	佐々木勝雄(中湧別北町)	上湧別町商工会青年部長	松下一彦	(本所)保健福祉課福祉係長
			北林孝之	(本所)商工林務課観光係長
	3		5	
D			細川徳之	(支所)産業振興課補佐
	伊藤康人(栄町)	湧別町商工会青年部	岡崎公俊	(教育委員会)教委生涯学習課補佐
			山原誠司	(本所)住民生活課環境衛生係長
	三橋裕介(中湧別東町)	上湧別町商工会事務局	吉松智弘	(本所)農政水産課農政係主査
	岩井孝浩(中湧別中町)	商店		
	3		4	
E	竹内真吾(栄町)	湧別町商工会青年部	堀川仁	(支所)建設水道課補佐
	関根浩史(栄町)	湧別町商工会青年部	沢田秀希	(教育委員会)教委教育総務課補佐
	高橋大輔(中湧別中町)	上湧別町商工会青年部	大口貢	(支所)地域振興課住民係長

	佐々木雅朗(北兵村三区)	上湧別町商工会青年部		
	藤井伴晴(中湧別北町)	商店(中湧別)		
	5		3	
F	河井隆治(錦町)	湧別町商工会青年部長	佐野公康	(支所)地域振興課補佐
	川崎隆浩(屯田市街地)	JA 湧別町農畜産物販売課	星義孝	(本所)住民生活課補佐
	平田弥(錦町)	JA 湧別町農畜産物販売課	因洋史	(本所)商工林務課商工係長
			阿部佳之	(本所)農政水産課耕地係長
	屋中里美(栄町)	JA 湧別町営農相談課		
	4		4	
G	横山和志(中湧別南町)	JA 湧別町管理課	田中千嘉伸	(本所)商工林務課補佐
	内山裕行(遠軽町)	JA 湧別町営農相談課	木村勤	(本所)財政課補佐
	楨典明(緑町)	商店	斉藤健悟	(本所)まちづくり推進課調整係長
			山川渉	(支所)産業振興課農畜産係長
	梅田唯士(屯田市街地)	(総計審議委員)		
	4		4	
事務局			関野清治	(本所)保健福祉課補佐(リ-ダ-)
			尾山弘	(本所)まちづくり推進課係長
			2	

人数

29名

31名

## Aグループ発表報告（発表者：無職 柳澤勝彦さん）

### 題材 子どもやお年寄りが安心して地域で暮らすには何をすべきか？

子どもと一般の方を全部含めまして、まず、対話したり、食事したり、一緒に交流したり、一緒に遊んだりするなど、そう言うことが大事ではなかろうかと、基本的なメインとなる課題を解決しようとする順序であります。

次に、その周辺に「実情」とありますが、現在の子どもたちの置かれている状況や親の状況、お年寄りがどんな暮らしをしているかなどを調べる必要があるだろうと言うのがこの部分であります。

次に、これに関連しまして、これからどうしたら良いかと言うのがたくさんの意見として出てきました。その中で例えば、地域の見回りを子どもたちのために行うだとか、福祉施設を充実しましょうだとか、それから介護サービスの強化や、お年寄りの話を聞くボランティア、子どもたちに防犯ベルを無料で配るなどの具体的な話が対策として出てきました。

これにつきましては、環境の整備をしていかなければならないと言うことで、老人の方が買い物に困っていたら替わりにしてあげようとか、初めて聞いた名前ですけど「子どもデリバタクシー」をやってみたらどうだろうとか、それから、街灯をもっと明るくしたらどうだろうなどの意見がありました。本来ですと、

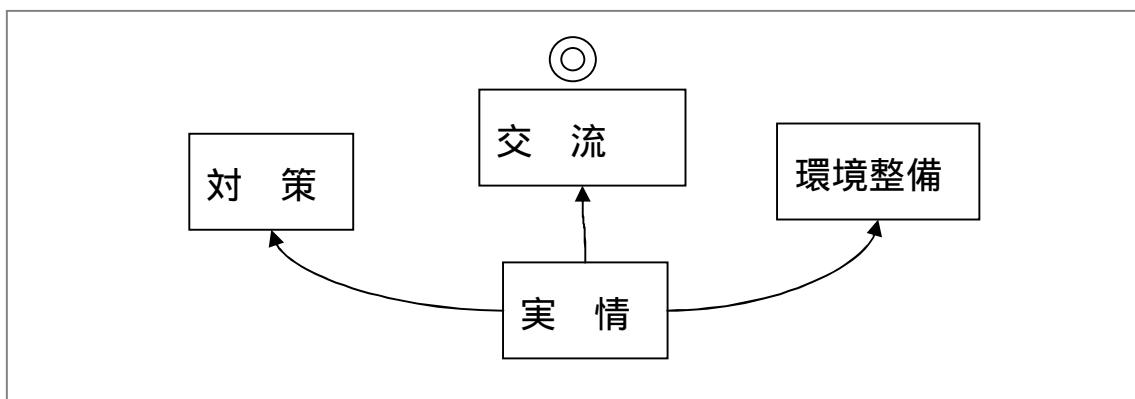
子どもたちやお年寄りの方だけと言うことにはなりますが、まちづくりを進めるうえで、基本的な交流から地域を形成して行って、少しでも暮らしを良くして行ってはどうかと言うようなまとまりになりました。

#### ・検討結果のまとめ

#### 最も重要なこと 交流～子供と老人の対話と場所の提供

さまざまな実情を把握するために 交流し話し合うことが大切。

ここから対策（環境整備、制度、活動など）を考えることが大切であり、最初に行なうべきことである。



重要度	グループ名	アイデア
	実情	子どもたち、お年寄りの現状は？
		安心とは？

		何をしているのか？
		何に対して安心できないのか？
		歩いて買い物に行ける
		歩いて病院に行ける
		年金などで社会保障が心配
		子ども生活弱者老人
		病院・買い物・足の確保が必要
	環境整備	買い物有料請負人。老人が健康兼ねて。若い仕事ない人
		子どもデリバタクシー老人
		町の中心部に公営住宅を作る
		町内すべての施設をバリアフリーに
		独居老人を集めて集団にする
		外灯を明るくする
		暮らしとはどんなことか。困っていること。とてもいい事は
	交流	子どもと老人の交流
		子どもとお年寄りとは地域と本当につながっているのか
		子どもはどんな遊び
		あいさつ運動。たくさんのありがとうを集める
		人と人のつながりが希薄。まず、つながること。
		子どもとお年寄りとは話するときの言語力は
		話を聞くところ
		子ども食事老人
		交流できる場所の提供
		子ども老人がつながる場所
		子どもと老人知恵袋
		子どもとお年寄りが触れ合う機会を作る
	対策	地域の見回りを強化する
		お年寄りとは話相手。有料子どもボランティア
		お年寄りが困ったときの有料ボランティア
		介護サービスの強化
		福祉施設の充実
		町ぐるみの子育て(企業も含めて)
		子どもの人数が少ない。ある程度学校の統合が必要では
		小さい学校を集めて大きな学校にする
		消防・民生委員・保健師などが連携して老人宅を訪問
		おこずかい整備茶会。お年寄り おこずかい。子ども お年玉。必要なものを整備
		他町にない町独自の政策(手当てなどの支給)
		子どもに防犯ベルの無料配布

		生涯スポーツの強化(生きがいづくり)
		子ども人口老人
		何が危険
		少子高齢化の町の現状はどうか

**Bグループ発表報告（発表者：湧別町商工会事務局 野津哲弥さん）**

**題材 観光振興のため何をすべきか？**

観光で最も大事なことは集客と言うことで、イベント、創作、景観、体験、施設、情報の6つのテーマが挙がったんですけど、その中でイベントが二重丸、体験が丸と言うことで重要視しています。

イベントの内容を充実させるためには、ご当地グルメを作るなど独自性をもった何かと言うことで関連させています。

イベントをするために、施設や景観の整備も進めていかなければならないと思います。体験型のイベントも必要だと言うことで、滞在型のツアーができたならと言うことで丸を付けています。

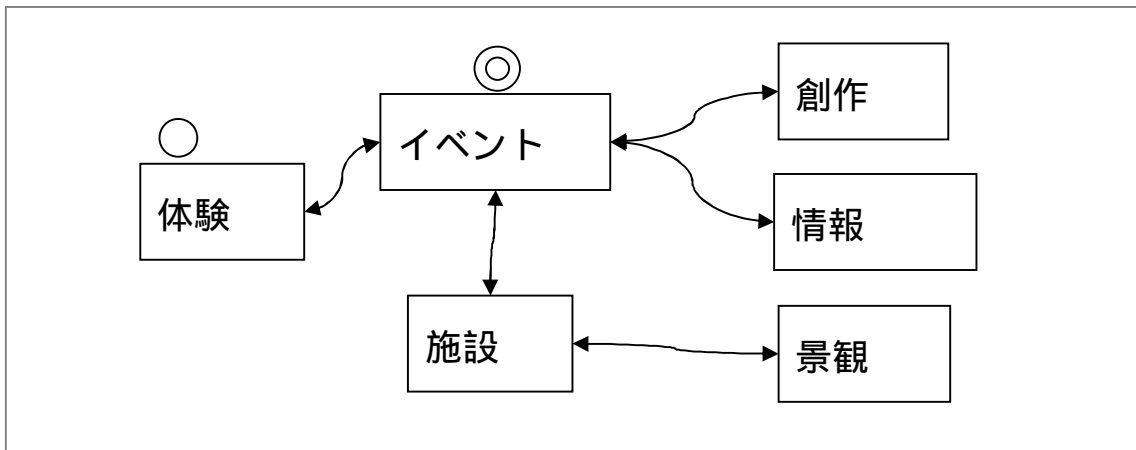
イベント、体験を充実させてから、情報発信をしていければ、体験型の観光を推進することができ、集客につながるのかなと思います。

**・検討結果のまとめ**

**最も重要なこと イベントの推進**

各地域に情報の発信を行い、湧別町の観光を大きくアピールすることにより、体験型観光と連携した産業に関わりのあるイベントを推進する。

又、イベント推進のための施設整備も重要となっている。



重要度	グループ名	アイデア
	景観	観光スポットの掃除
		キャンプ場をきれいにする
		観光資源の保護・景観形成
		景観をあわせたまちづくり、家づくりに補助。統一テーマのまちづくり
	情報	大都市でのアンテナショップの出店による RP 推進
		観光大使の委嘱による湧別町の PR 推進
		特に東南アジアに向けた情報の発信体制の整備

		他町村との連携した観光の推進
	創作	色んな観光地を見に行く。参考にする。
		観光資源がわからない。
		ご当地グルメの創作。
	施設	チューリップ公園をでかくする。
		等身大のガンダムみたいなものを建てる
		遊園地無料の日を作り、町外から人を呼ぶ
		テーマパークのような公園
		チューリップの湯を大きくする。宿泊施設の併設
		滞在型の観光を勧めるための宿泊施設を整備する
		通年をとおしてチューリップを見せる施設
		チューリップ公園の年間利用方法
		イベント開催時(100kmマラソン等)宿泊施設の確保。学校体育館の解散
		複合した施設。いろんなショップ
		イベント
	カキ祭りの全町イベント化への拡大	
	農業・漁業・商業一体となった一大イベントの開催による集客を図る。	
	鉄道(廃線)利用のイベント。リラ街道からチューリップ公園まで	
	二つの文化ホールでジョイントイベント	
	観光客を受け入れるメリット	
	体験	漁村体験ツアー
		湧別町一時滞在住宅を整備し、滞在型観光の推進
		体験型観光の積極的な実施
		親と子が共に遊べる施設の整備を図る
		観光の種類・自然体験・観光施設
		ファミリー向けのイベント・体験

## Bグループ

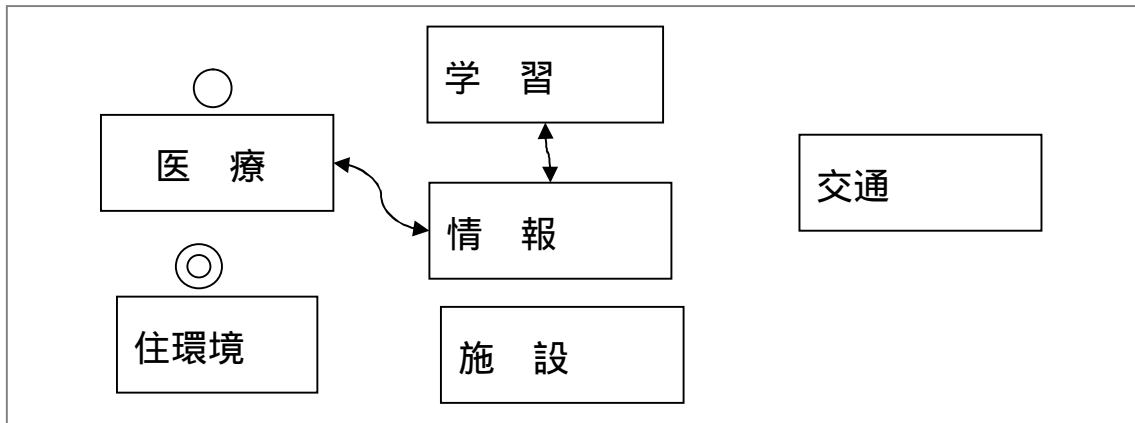
### 題材 子どもやお年寄りが安心して地域で暮らすには何をすべきか？

#### ・検討結果のまとめ

#### 最も重要なこと 住環境の充実・お年寄りの一人暮らしのケア 医療

子供やお年寄りが安心して地域で暮らすためには情報も重要であるが、安心して暮らせる住宅を含めた、生活環境が重要と考えた。

又、健康第一であり検診体制の充実と医療施設の整備が望ましい。



重要度	グループ名	アイデア
	交通	自転車道路の整備
		食料品店の確保
		お年寄りに優しい買い物の方法
		地域交通網の確保。買い物・医療
		除雪 道路や歩道
		冬期間の道の整備 歩道の除雪
		お年寄りに便利な交通体系の充実。ワゴンバス、タクシー等
	学習	パソコン等の生きがい対策
		子どもたちが将来誇りに思うような湧別町の教育。もっと湧別を好きになってもらう。
	情報	地域コミュニティの醸成、見守り、生活支援
		情報・通信網全戸 安否確認、医療指導
	施設	子どもの一時預かり的な施設・体制の整備
		老朽施設の(保育所・学校)改善
	医療	病院の充実
		検診の充実
	住環境	高齢者用の集合住宅の整備
		お年寄りが地域で一人で暮らすための住宅環境整備
		登栄床の住宅を新しくする
		お年寄りの集合住宅、地域



## C グループ発表報告（発表者：上湧別町商工会青年部 佐々木勝雄さん）

### 題材 産業振興を進めるには何をすべきか？

「全ての町民が働く場所がある町、湧別町」ということで、このまま総合計画に載せても良いと言うぐらいの完成度で作ってきました。

まず、雇用と言うことで、働く場所に困らないまちづくりを考えるために、自然に恵まれた大地、生涯暮らしていける基盤整備、または企業誘致を行うとともに、湧別ブランドの確立、水道から牛乳など特色ある産業を推進し、豊かなまちづくりの完成を望むと言うのが理由であります。

まず、企業誘致、一次産業の支援、基盤整備と大まかに3つがありますが、湧別町は一次産業が豊富にあります。その中でこれからどうしたら良いか。牛の野生化、農業・漁業への支援、農林水産業への後継者支援など、いろいろ特色ある話が出てきました。

その次にですね、やはり一次産業の核となる基盤整備もどんどん推し進めると言うことで、サロマ湖を世界一にする、施設整備への補助などいろいろ出ております。

次に、企業を誘致したほうが簡単に雇用が増えると言うことで、トヨタ工場の誘致、シャープを誘致するなどの意見が出ています。そのためにも企業への優遇措置が必要です。

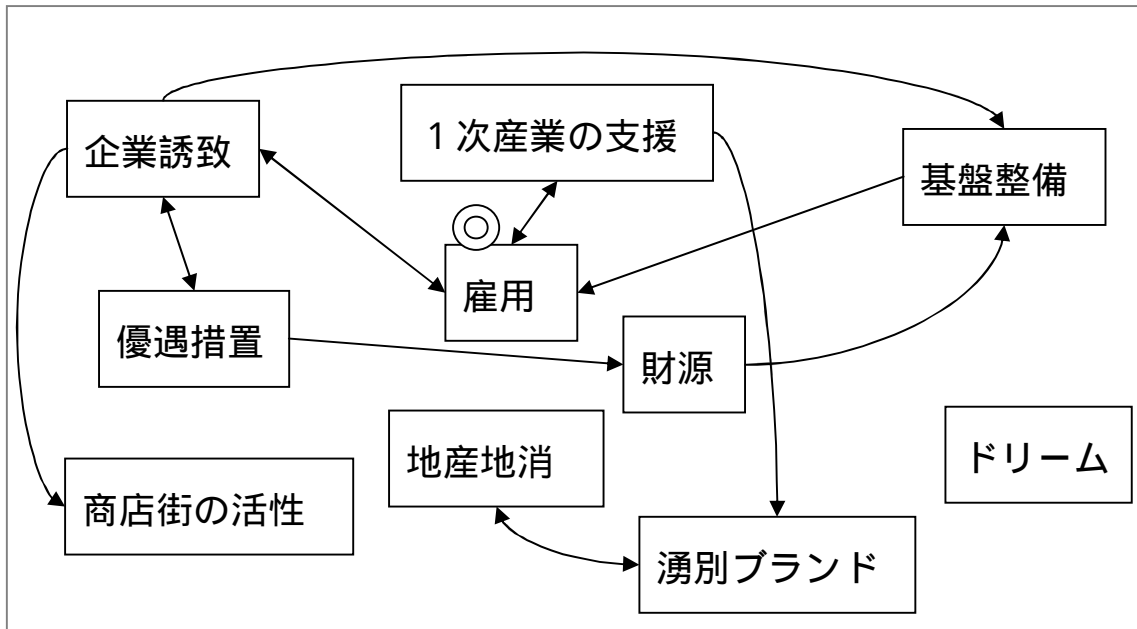
固定資産税の廃止、法人税の撤廃、低所得者への所得税控除など税金を安くする、若しくは廃止する考え方。その後、やはり財源が必要になるので、町内に入る時の税金、これを「入町税」と言いますが、これをいただいて財源にする。これらのことを行うことにより、一次産業が湧別ブランドを作り、それを地元で昇華するような働きを持てば、たくさん雇用が生まれるのではないかと、産業振興の一番は雇用ではないかと言うのが私たちの考えであります。

#### ・検討結果のまとめ

**最も重要なこと** **すべての町民が働く場所がある町「湧別町」**

読んで字のごとく、働く場に困らない町づくりが必要と考える。

そのために自然に恵まれた大地で生涯暮らしてゆけるように基盤整備、又は企業誘致を行なうと共に、湧別ブランドの確立、特色ある産業推進し、豊かなまちづくりの完成を望む。



重要度	グループ名	アイデア
	基盤整備	IT インフラの整備 光回線など
		サロマ湖を世界一広く深くする。 世界遺産
		サロマ湖の清掃
		商業施設・土地・工業施設・土地の貸し出し
		橋の拡幅
		設備投資の補助
	ドリーム	シャワーからいくら
		水道から牛乳
	財源	町内に入る時の入町税
	一次産業の支援	農業・漁業への支援
		農林水産業の後継者対策
		牛の野生化
		農協の合併
	雇用	すべての町民が働く場がある町湧別
	地産地消	毎日牛乳を飲む
		鮭の無料配布
		地産地消
		地産地消
		地元生産
		地元消費
	ゆうべつブランド	特産物の絞込み ホタテ・たまねぎ
		1商店1ブランド品の販売(ブランド化)この店にしか売っていない

		湧別ブランドの開発
		特産品の開発
		農業・漁業・商業の特産品をPRする。湧別町だけのアンテナショップ
	企業誘致	Iターンの推進
		Uターンの推進 企業誘致
		コストコの誘致
		世界一の工場を作る
		シャープを誘致する
		工場などで働く人が多くおればよい。生産業が伸びる
		障害者が働ける場所
		企業誘致による雇用の確保
		トヨタ工場誘致
		優遇措置
	低所得者への所得税控除	
	固定資産税の廃止	
	法人税の撤廃	
	商店街の活性	消費者のもとめている物の販売・町内消費
		プレミアム商品券の増額
		飲み屋街の充実
		商店街の充実
		商店街の活性化

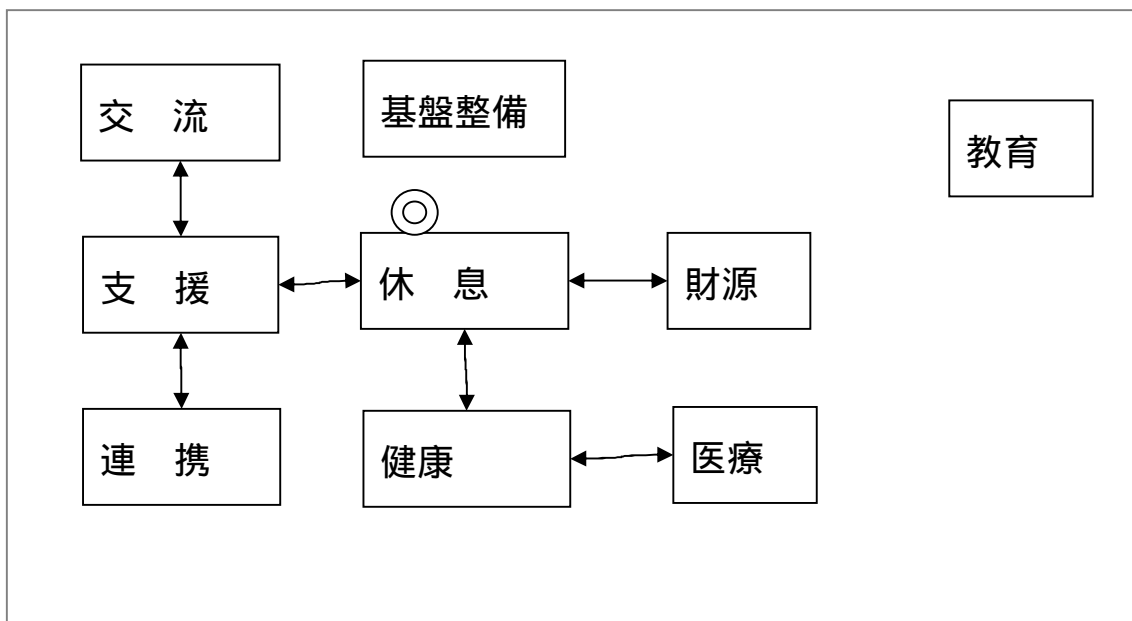
## Cグループ

題材 子どもやお年寄りが安心して地域で暮らすには何をすべきか？

### ・検討結果のまとめ

最も重要なこと 冬は休み2ヶ月

冬は危険なので子供手当を増額して財源を確保し、医療を充実し健康であることが必要。年寄りの子供の交流と支援により休息を実現する。



重要度	グループ名	アイデア
	教育	皆で子どもを教育
		あなたのママは僕のママ。僕のママはあなたのママ
		老人だけでなく子どもの家庭へも子育てヘルパーがあればよい
		健康、育児について相談できる場所(個別)がいつもある
		湧別高校の部活動に予算をつける
		中高一貫の廃止
		学校のトイレをきれいに
		地場産品を使用した給食
		食育 学校の給食の改善
	医療	特殊医療の充実
		地域医療の充実
		病院の先生の地元確保。町民で医師を目指すものに補助
		健康に暮らすようにジム
	財源	子ども手当100万円

		子ども手当で100万円の町独自増額
	休息	冬休み1ヵ月
	健康	子どもやお年寄りの運動不足の改善
		世界一の大きな公園が欲しい 2位じゃダメなんですか
		小公園の整備
		人の集まる公園
	基盤整備	高齢者マンションを病院の近い場所に建設 歩いていける距離
		施設のバリアフリー
		施設のバリアフリー
		町営バスのバリアフリー
		町が離れている(一つの町になればよい)
		お年寄りの交通改善(病院や買い物の足に)
		基線道路に歩道の設置
		歩道(雪道)の確保
	交流	老人施設と小学校を合体させる
		子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツ交流・体力増進
		老人施設の中に保育所を作る
		子どもお年寄りの交流。知識や技術の継承
		学童保育の場などでお年寄りと集まる場が同じ施設にある
	支援	お年寄りに対して除雪の応援
		雪はねが大変 町全体のロードヒーティング
		食事の宅配
		買い物の代行
	連携	障害のある人も無い人も地元で生活(解決)できる町
		毎週金曜日は近所同士でパーティ開催
		近所とのかかわりを強くする
		地域で見守るいう優しさ

Dグループ発表報告（発表者：上湧別町商工会事務局 三橋裕介さん）

題材 観光振興のため何をすべきか？

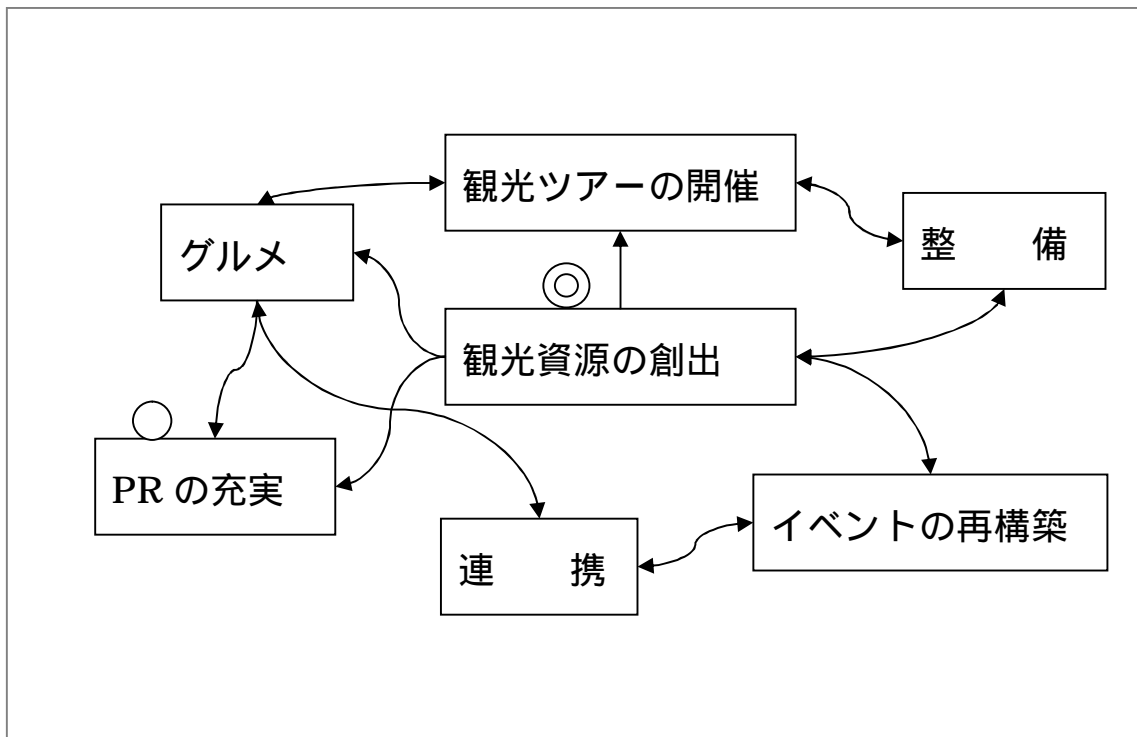
私たちはアイデアを7つのグループに分け、その中で最も重要なグループのテーマとして、「観光資源の創出」を挙げました。

その理由としては、模造紙の矢印にある通り、観光ツアーの開催や、B級グルメの開発、PRの充実などが全てのグループの原点となったため、これを最も重要なテーマとしました。その他にも、イベントの再構築、農林水産業と商工業の連携などいろいろな意見が出ましたが、我々Dグループでは、やはり「観光資源の創出」が観光振興のための一番重要なこととなりました。

・検討結果のまとめ

最も重要なこと **観光資源の創出**      PRピーアール

何事も刊行の資源があることからすべてが始まり、これをどう活かすかが観光振興の原点である。



重要度	グループ名	アイデア
	整備	ゴミのない街を目指す
		店舗の整備
		車中泊用の施設の整備
		商店街の活性化
		チューリップ公園の拡大・拡充

		観光施設の清掃
		愛ランドYOUへ簡易な滞在施設の整備
		宿泊施設の充実
	イベントの再構築	観光イベントの開催
		町民が喜ぶ行事(中止されているもの)
		冬の観光を考える
		イベント・おまつりをさらに大体的に
		新湧別町の大イベント
		イベントの集約
		イベントを統合して盛大に行なう(まつり)屯田・産業
	観光ツアーの開催	除雪車ツアー
		流氷を使った遊び
		漁業体験ツアーを作る
	観光資源の創出	観光資源を考え直す
		一つのテーマで観光を語り合う
		観光資源の再発見
		観光資源を再発見する
	連携	各団体の連携。漁業・商工など
		都市間交流などの交換
		農林水産業と商工業の連携
		農・漁・商統一の会
	グルメ	ホタテを使った何か
		湧別町のおみやげ作り特産品
		B級グルメ(今年北見)
		湧別井を作る
		じゃらん食をすすめる。ご当地グルメ。
		B級グルメコンテスト
	PRの充実	メディアの利用、活用
		町外・道外・海外へのPR
		効果的なPR
		オホーツクラしさの発信
		案内看板の大型化
		販路の拡大

## Dグループ

### 題材 子どもやお年寄りが安心して地域で暮らすには何をすべきか？

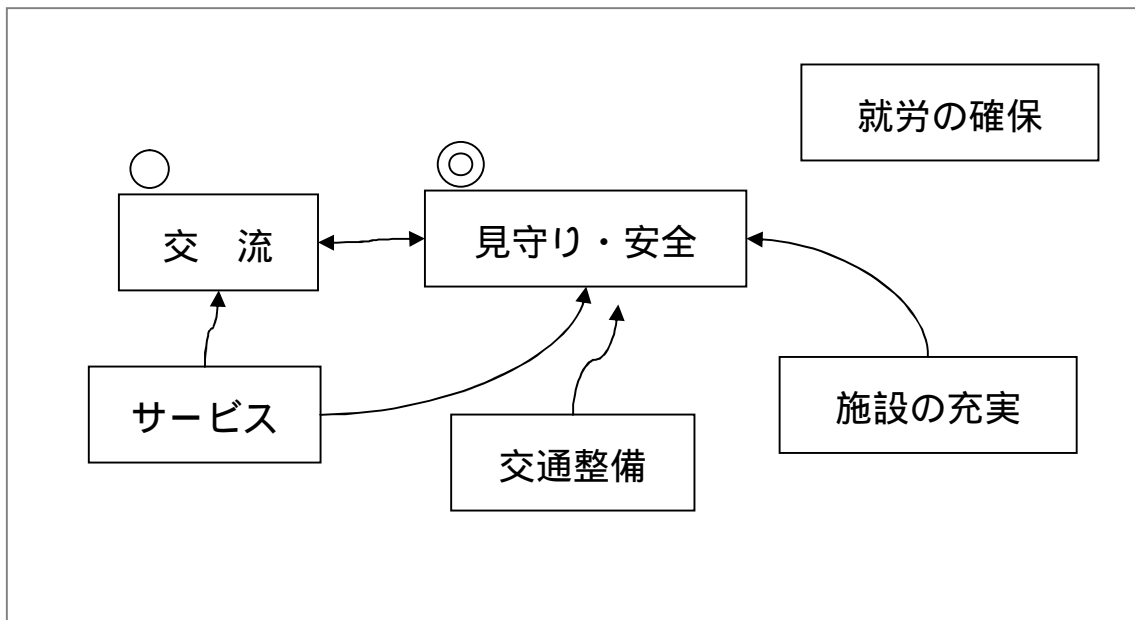
・検討結果のまとめ

最も重要なこと 見守り安全 交流

子供、お年寄りのいわゆる生活弱者が安心して地域で暮らすことについて、大きく6つの考えに区分された。

その中でも特に必要なものは何かグループ内で論議した。

地域の中でできること、その事により生活が充実することを目的とするためには、地域での見守りではないか？地域や世代を超えた交流ではないか？と判断した。



重要度	グループ名	アイデア
	就労の確保	若者を増やす(雇用確保) 後継者の育成
	福祉施設の充実	老人福祉施設の整備 バリアフリー化 集合住宅の推進(2F若世帯 1F年寄り) 街灯 明るい通学路 介護施設の充実 バリアフリー化の推進(UD) 街灯の整備 よりコンパクトなまちづくり
	見守り安全	独居老人を見守る目の確保 子どもを見守る目の確保 あいさつをすること。心より互いに興味を持つ(興味)

		地域で声かけ
		子どもに GPS
		子ども110番 PR
		地域巡回スタッフ制度(見回り)
	交通整備	便利な交通手段
		広い駐車場
		通学路の整備
		除雪をきちんとする
		通学路の安全確保
		車がなくても生活しやすく(バス路線の充実)
	交流	近隣とお付き合いの充実
		老人の集会場所の提供
		交流会(月1回)
		孫子老人の交流イベント充実
		老人間サークルの充実
		コミュニティの再構築
		町内会の行事
		学校でのふるさと学の導入・年寄り知恵
	サービス	情報(PR)発信
		代行(ポイント制)
		訪問販売
		宅配 PR
		インターネット等の宅配ショッピング

**E グループ発表報告（発表者：上湧別町商工会青年部 高橋大輔さん）**  
**題材 子どもやお年寄りが安心して地域で暮らすには何をすべきか？**

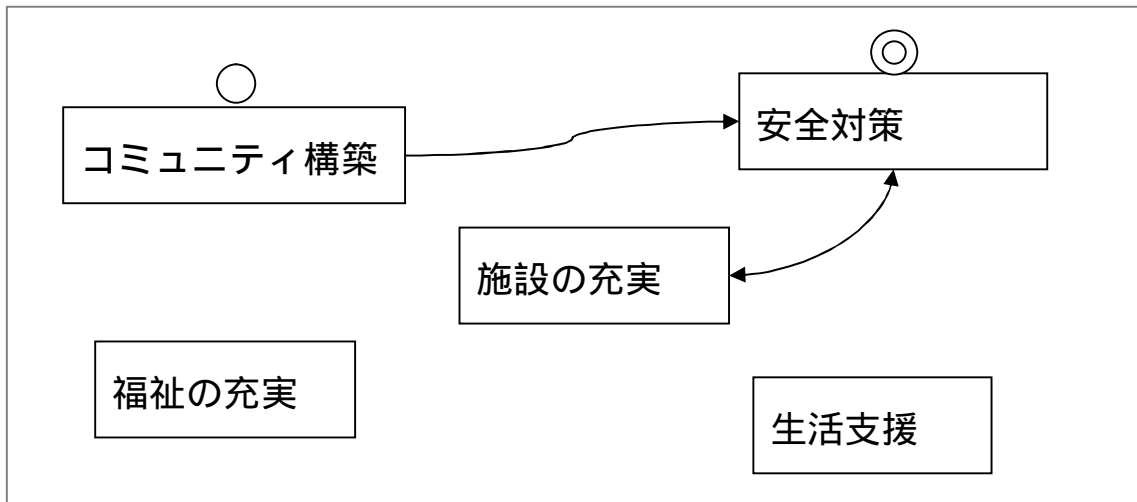
最も重要なことは、安全対策が二重丸で、コミュニティ構築が丸となりました。その理由で、街灯・信号機の設置や交通安全講習、緊急時の連絡体制の整備、不審者・犯罪者の情報提供や安全な遊び場を作ると言うことが安全対策となります。

コミュニティ構築のほうでは、コミュニティを強化し、お年寄り宅への定期訪問や、子どもとお年寄りのコミュニケーションができる場所を作るなどがありました。

あと、生活支援として、お年寄り向けの宅配業務をしたり、除雪を行ったり、施設の充実として老人ホームの設置や、病院の医師の確保、介護支援サービスの強化、バリアフリーで安い公営住宅の建設などもあります。

**最も重要なこと**

- ・ 安全対策      コミュニティ構築



重要度	グループ名	アイデア
	安全対策	街灯の設置
		信号機の設置
		緊急時の連絡体制整備
		不審者情報の迅速な提供
		ガーディアンエンジェル
		不安要素の排除
		お年寄り、子ども向けの交通安全講習
		防犯対策
		歩行者専用道路の建設
		楽しく元気に遊べる場所作り

		安全な遊び場
		子どもが安心して遊べる遊園地がある
		犯罪者情報
	コミュニティ構築	コミュニティの強化
	コミュニティ構築	年寄り宅への定期訪問
	コミュニティ構築	うっとおしく無いくらいの地域の横のつながりの確立強化
	コミュニティ構築	世代間交流
	コミュニティ構築	回覧板などで年寄りへアンケート
	コミュニティ構築	子どもやお年寄りともっとコミュニケーションをする場所を作る
	施設の充実	老人ホームの建設
	施設の充実	いつでも入所できる部屋のある老人ホーム
	施設の充実	要介護者のサービスの強化
	施設の充実	病院を作る、医師の確保
	施設の充実	バリアフリーで家賃の安い公営住宅の建設
	福祉の充実	父子手当の充実
	福祉の充実	育成者の安定収入
	生活支援	移動販売者の運行
	生活支援	お年寄り向け宅配委託業務
	生活支援	歩いて行ける距離にあり一箇所で買い物がすむスーパーがある
	生活支援	老人の足の確保(交通機関)
	生活支援	公共サービスに充実
	生活支援	老人宅の除雪を請け負う
	生活支援	除雪の大変さの解消

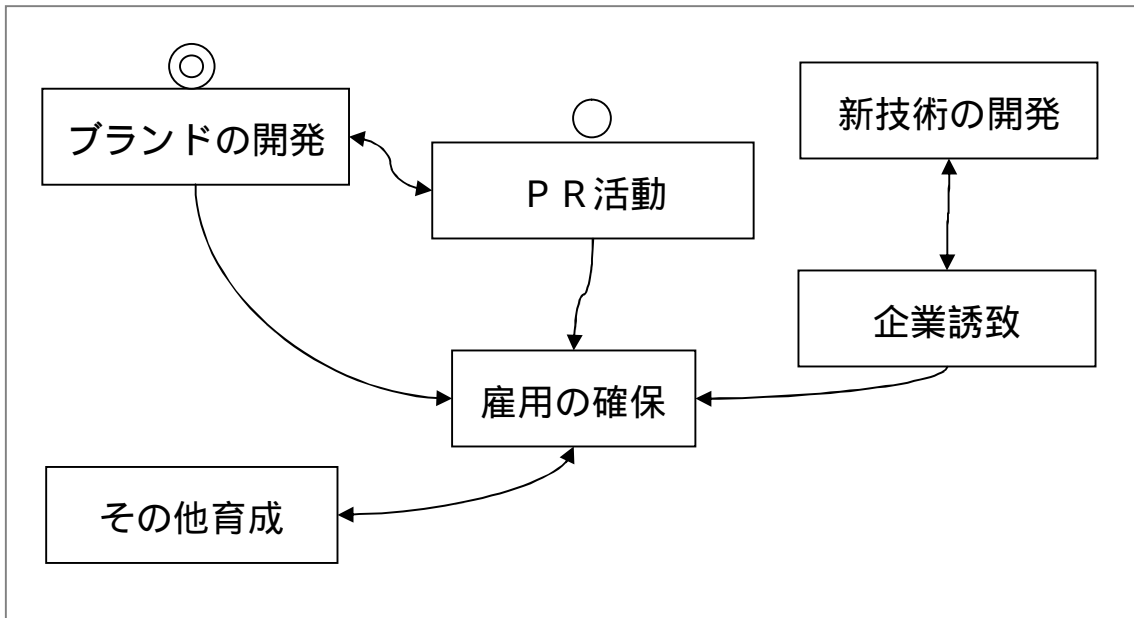
## E グループ

### 題材 産業振興を進めるには何をすべきか？

#### ・検討結果のまとめ

#### 最も重要なこと ブランドの開発 PR活動

既存のものを含めた上でのブランド開発を第1とし、それと平行した形でのインターネット等PR活動を重視する。これが雇用の確保、収入の増につながる。



重要度	グループ名	アイデア
	ブランドの開発	地場ブランドの育成
		水産物・農産物のブランド化
		海産物・農産物のブランド品
		地域のブランドの確立
		地産地消の徹底
		製品に付加価値を加える
		地場産品の開発
		商品の付加価値
		地場産業の育成
B級グルメの開発、大会への参加		
物産品の工場見学		
物産館の建築		
マスコミの利用		
地元製品のPR		

		地場製品のPR
		まず地元民の人に物産品を知ってもらう
	雇用の確保	新たな取り組みに助成補助を(国・道・町)
		製品の販売、経路の確保
		後継者の育成
		地元の雇用
		建設工事の発注、道路・建物を作る(雇用の確保)
	その他育成	山林の有効利用
		生産者の自立
		共同経営力
		一次産業の法人化
		異業種交流を図る(農・水・商の交流、智恵の出し合い)
	新技術開発	エコエネルギー
		海外・道外の新しい技術
	企業誘致	各種施設の誘致
		企業誘致(雇用の確保)
		自然を生かした湧別町、湧別町の食材を生かしたリゾート
		屋台村の設置
		夜の遊び場を作る(カラオケやスナック、キャバクラなど)
		商店街の再編
		企業の誘致
		刑務所の誘致
		デパートの誘致
		スーパーの建設
		町外者を受け入れる(体験)
		値段の不安・・・?

F グループ発表報告（発表者：湧別町商工会青年部 河井隆治さん）

題材 観光振興のため何をすべきか？

まず一番大事なことは、特産品を作ることに重点を置きました。特産品を作った後にメディアにPRしてもらうことが一番の近道だと思いました。観光が振興されれば湧別町みんなが金持ちになれるという意見でした。

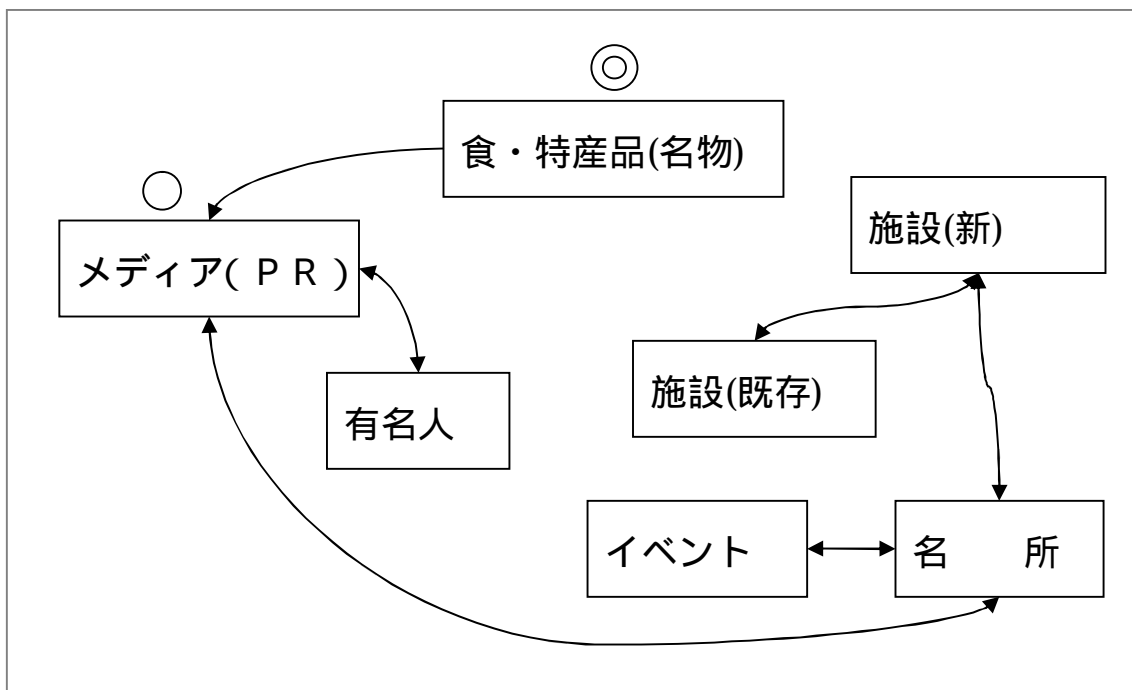
他にも、パワースポットを作るだとか、神話を作るだとかの意見がありましたが、北海道ですので、食に関したものを作って、メディアにPRしてもらって湧別を有名にしようという意見でまとまりました。

・検討結果のまとめ

最も重要なこと **食 特産品が必要。特に食でしょう。 メディアPR**

食 = 特産品を通して湧別町をメディア・タレントをPRが地位が近道。

観光が振興され金持ちになる。



重要度	グループ名	アイデア
	特産品(名物)	資源発掘(自然環境、地下)
		農産物と海産物を使いおいしく珍しいメニューの作成
		集客の高い町を代表する物を作る
		産業レンジャーの商品化
		他の町にない特産品を考える
		名物を作る(土産など)
		産業レンジャーお土産(せんべいなど)

		商工業、農業、林業などとの連携
		食に関連したイベント
		ご当地グルメ
		食材として売るだけでなく地元で食べられること、ここでしか食べられない物・処を作る
		スイーツ
	メディア(PR)	CMを作りTVで流す
	メディア(PR)	年に何組か無料で招待する
	メディア(PR)	中国、韓国などアジアの映画を誘致する
	メディア(PR)	国際化？
	メディア(PR)	ブランド化とTV宣伝
	メディア(PR)	映画の舞台にしてみよう
	有名人	有名人を出す
	有名人	有名人に褒めてもらう
	有名人	町から有名人になれるタレントを育成する努力をして町をPR
	有名人	有名人に観光大使になってもらう
	施設(既)	チューリップ公園の遊園地化
	施設(既)	観光客を増やす、チューリップ公園をもっと大規模にする
	施設(既)	街灯等統一する(町内全体)
	施設(既)	大規模なイルミネーション公園(秋・冬のチューリップ公園、電気は太陽光)
	施設(新)	ショッピングモール
	施設(新)	アウトレット(野菜とか魚)
	施設(新)	宿泊施設
	施設(新)	ショッピングセンターの誘致
	施設(新)	カジノ設立
	施設(新)	スキーリゾート
	イベント	冬季のイベント
	イベント	冬期間サロマ湖での魚釣り強化
	イベント	観光船の年中操業
	名所	パワースポットを作る
	名所	神話を作る
	その他	観光 = 金持ちになれる魅力が大切

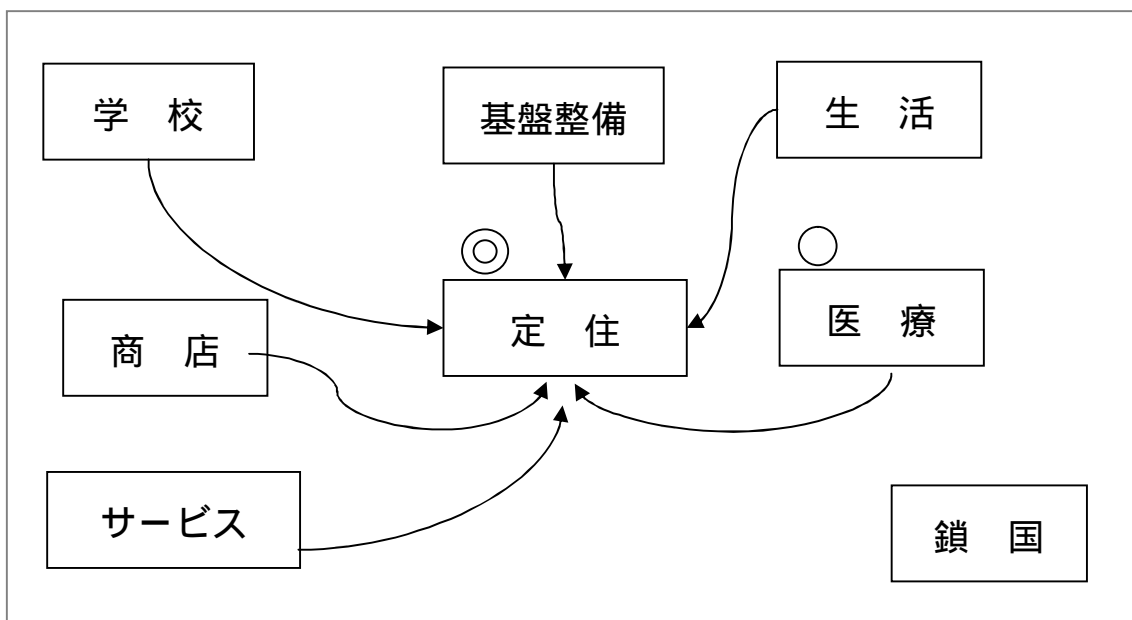
## Fグループ

題材 子どもやお年寄りが安心して地域で暮らすには何をすべきか？

・検討結果のまとめ

最も重要なこと 定住が促進される働く場所のある町づくり sub 医療に心配が無いこと  
医療

なんといっても、働く世代が町にいなければ、子供やお年寄りが安心できる地域はできない。あらゆる世代が住んでいる町が一番であるということ。



重要度	グループ名	アイデア
	定住	若い世代の定住政策の実施 地元卒業者は地元から出さない(地元就職)
	医療	病院へ通える 病院への交通確保 医療機関の充実 送迎サービス 訪問医療 病院が近くにある、遠くであればバス等で送迎してくれる 福祉・医療施策の強化
	学校等	各学校(小中)を1つにする 冬でも子どもが遊べる場所 子供会活動が活発に行われる 学校を統合して多人数で学習する(競争を高める) 安全な遊び場所の確保
	基盤整備	除雪にもう少し気配り

		登・下校時を安全に
		子どもたちの通学又は下校時の安全確保
		除雪のいない住宅の整備
		除雪の強化
		道路環境の整備(凸凹の解消)
		年寄りの住宅の除雪
	サービス	共通する身近な負担の軽減
		年金を60歳から
	生活	子どものいる世帯と老人世帯が混ざって住む
		子どもとお年寄りが共に行う地域活動の強化
		子どもとお年寄りが一緒に生活する
		子育て中の親への地域でのサポート
		子どもと年寄りが一緒に遊べる施設
		老人世帯への見守り
	鎖国	他のまちからの流入者を入れない

## Gグループ発表報告（発表者：商店 楨典明さん）

### 題材 子どもやお年寄りが安心して地域で暮らすには何をすべきか？

基本となるのは、町民や団体、行政の役割など、人のつながりを強化すると言うことで、大きく分けてまず子どもの安心があり、子どもの支援対策として活動の支援や教育の支援などがあります。教育の無料化として保育料の無料化や湧高の存続などが挙げられます。

次にお年寄りですが、お年寄りが生活するうえで最低限必要なことは、病院や買い物などの足の確保、経済的な不安の解消、独居老人対策などが挙げられました。

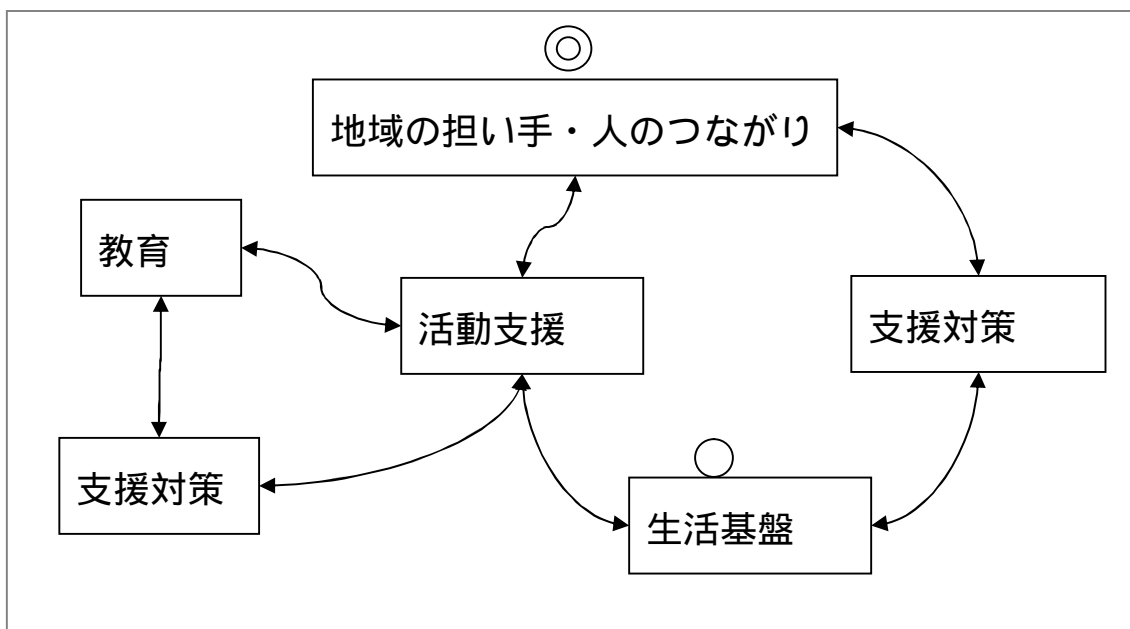
お年寄りと子どもの安心と言うことで共通して言えることは、安心して歩ける歩道の整備、住宅の整備などの意見が出ました。最終的に、それぞれの役割を考えて行きましょうと言うことで意見がまとまりました。

#### 最も重要なこと

- ・ 地域の担い手、人のつながり

（町民・団体・行政が役割分担し地域で見守る人のつながりが大切）

子供の安心（教育、スポーツ活動支援、医療保育所無料化）、お年寄りの安心（ひとり暮らし支援、通院買い物支援、安心して暮らすしくみ）、共通するもの（生活基盤としての住宅、買い物、災害対策、環境）、これら3つを総合的に進めることで、町民、各団体、行政が役割分担し、見守っていく人のつながりが大切だと考えた。



重要度	グループ名	アイデア
	地域の担い手・人のつながり	社協、自治会、民生委員、地域福祉の担い手を支援し支える
		子ども、お年寄りを支える世代が快適に住めるまちづくり
		町民、団体、行政の役割分担 それぞれができることを担い、地域の情報を共有
		新町の老人会組織のつながり

		地域のつながり
		人のつながりを強化して地域で見守る
		自治会の活性化、活用
	生活基盤(共通)	歩道の整備
		災害に強い環境作り
		住宅の整備
		老人の住む畑 + 住宅の企画PR
		親子で遊べる公園の整備
		買い物できる店の整備
		町の活性化(商店がある)
		安心して食べれる地場産品
	教育(子ども)	湧高の存続
		中高一貫の推進
	活動支援(子ども)	スポーツ・文化の充実
		スポーツ少年団などの支援
		スポーツ少年団等の支援体制
	支援対策(子ども)	医療・教育の無料化
		保育所無料化
	支援対策(お年寄り)	お年寄りが生活するうえで最低限必要なことができる仕組みづくり
		経済的不安の解消
		病院・買い物の足の確保
		足の確保(除雪・移動)
		独居老人対策(除雪・安否確認)
		老人一人暮らしに年に何回かの弁当配布(元気確認)
		老人一人暮らしの訪問(話し相手)
		健康(住民カルテ)
		お年寄りが主役になれる雇用

## Gグループ

### 題材 産業振興を進めるには何をすべきか？

#### ・検討結果のまとめ

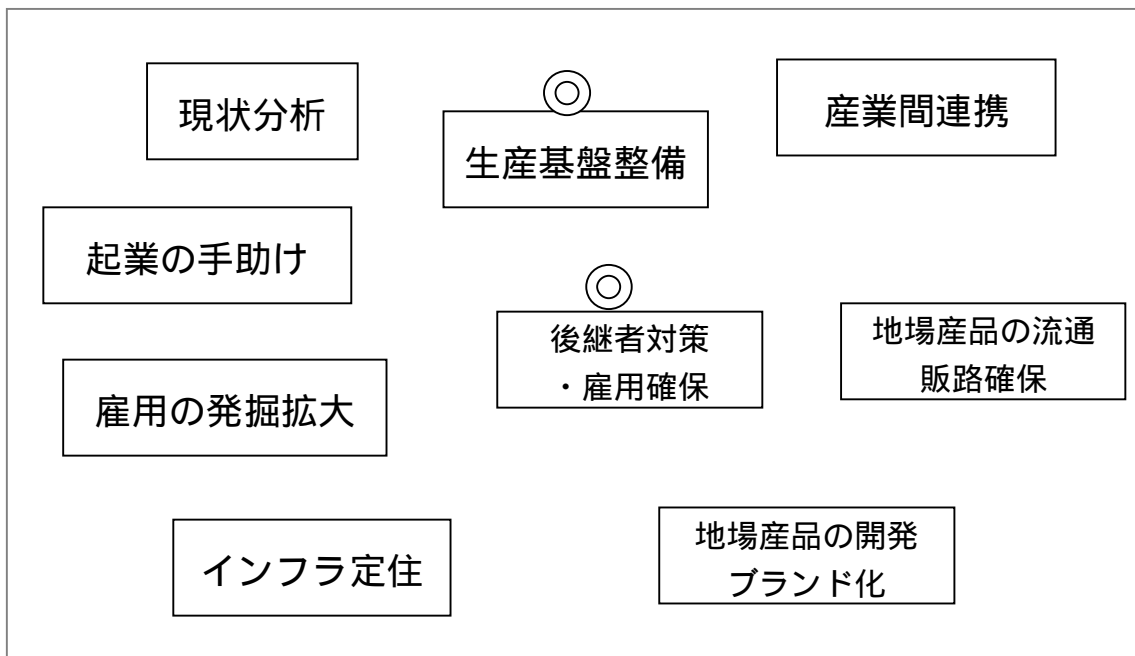
#### 最も重要なこと 生産基盤の整備 後継者対策と雇用確保

産業振興を進めるには生産基盤の整備と後継者対策、雇用確保の両立が重要である。(生産基盤 = 各産業の生産基盤整備、生産の向上。後継者対策・雇用確保 = 後継者担い手対策、人手の確保、花嫁対策)

まずは現状を分析し、今、何が問題で、何が必要かを把握することが重要である。

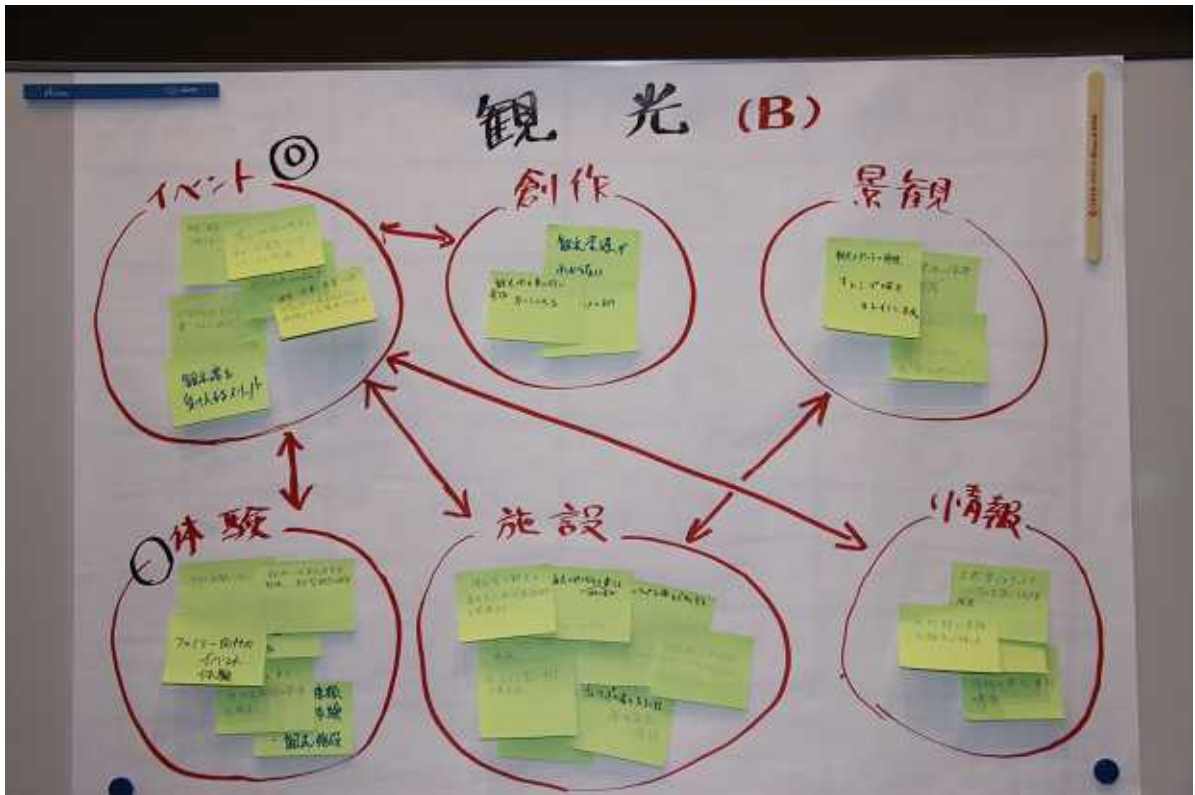
それらを踏まえて産業振興を進めるために地場産品の開発、ブランド化や流通販路の確保が必要であり、地元食材を利用した商品開発し、特産品の製造、加工をすべて地元で行なう。

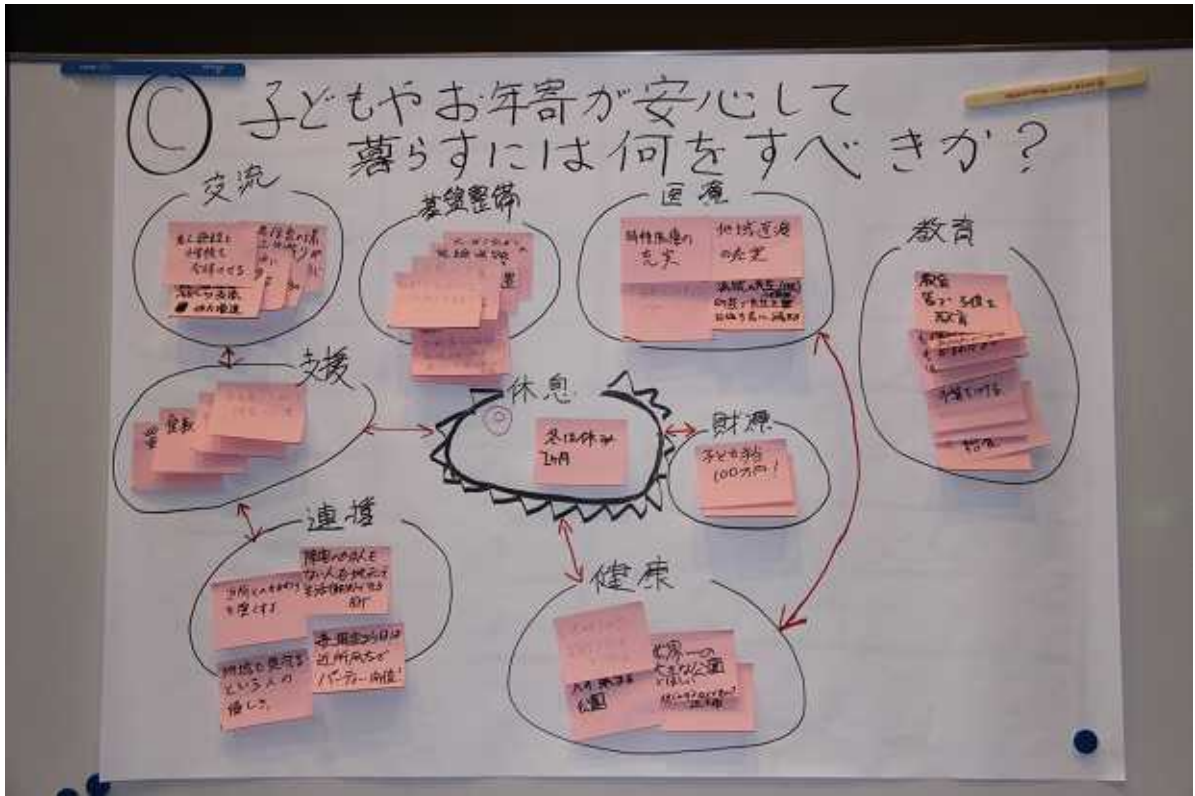
又、雇用の場を確保し新たな商品の発掘を行なうために、起業の手助けをする環境づくりや、その人達が住む住環境整備も必要である。

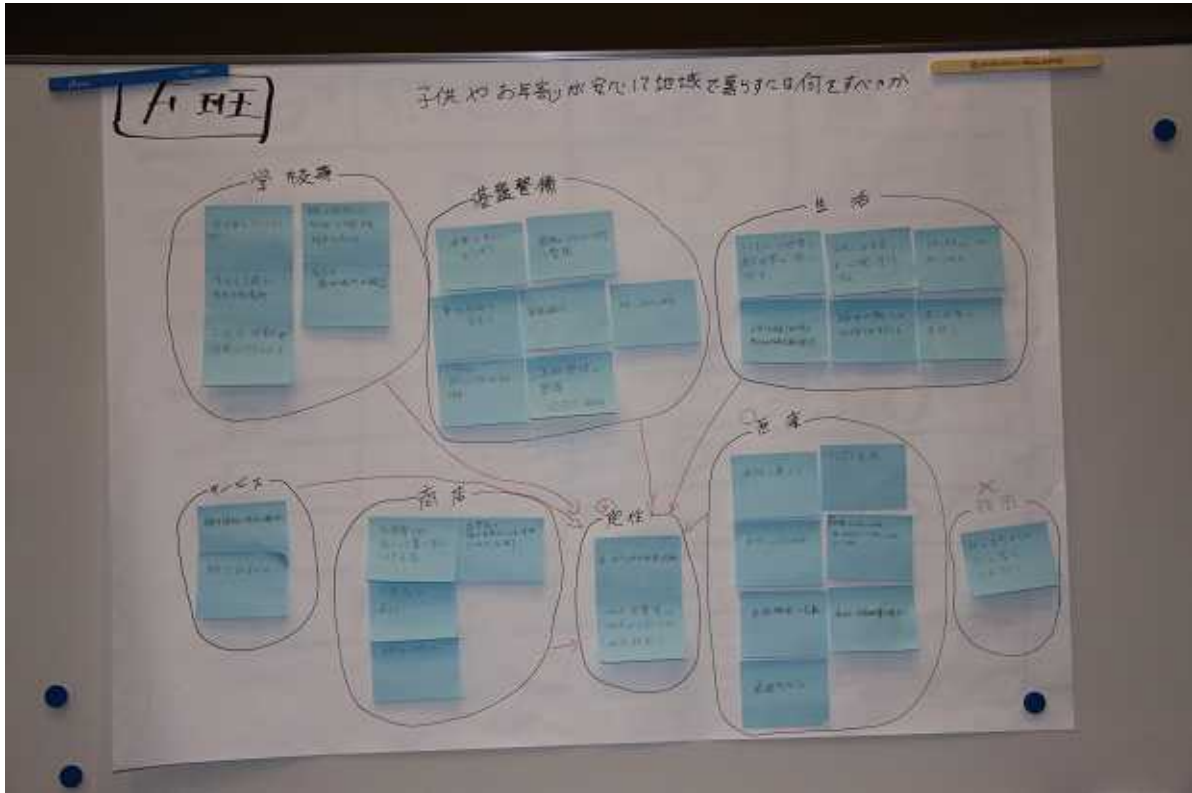


重要度	グループ名	アイデア
	起業の手助け	国の制度の一貫性
		起業化の手助け(協同化)
		新企業の参入、受入体制の整備
	現状分析	今何が必要か？現状を分析・把握、そしてそれぞれの立場ごとに出来ることを考え方向を定める
		産業の柱は？この町はこれからどうやって食べていくのか

	生産基盤の整備	各産業の生産基盤の整備を推進する
		本町の基幹産業である一次産業の発展
		生産の向上
		漁業振興で言えばサロマ湖の環境保全
	産業間連携	湧別町ポイントの創設
		産業の連携
		農・水・林・商・観が一同に協議する場を
		町と町との連携
	雇用の発掘拡大	雇用・発掘
		雇用の年齢層の拡大
	後継者対策・雇用確保	産業後継者、担い手対策の取り組み
		後継者の花嫁対策
		後継者対策の強化
		産業後継者の教育・育成
		後継者の育成、雇用確保
		後継者の確保
		商業等の経営者の募集
		人手の確保(第一次産業)
	インフラ定住	住宅を整備し他町村より人に来てもらう
		住みやすい町づくりをし働きやすい環境づくり
	地場産品の開発・ブランド化	地元食材、地場産品を利用した商品開発の研究を行う
		新たな商品の掘り起こし
		特産品の生産
		特産品の製造・加工
		商品化(ブランド化)
		地場産品のレストランを作る
	地場産品の流通販路確保	地場産品のPR活動
		地場産品の宣伝
		固定客の確保、町出身の人に宣伝(同窓会の活用など)
		町の市場の創設(季節)、商品の展示販売
		ふるさと納税活用
		地域の素材を生かし食事やスイーツを来町者にふるまう







# 観光振興のための何をすべきか？ (1)



## G組

## 産業振興を 進めるには……



グループ	高齢者	産業	観光
A	10	20	
B	20		10
C	10	20	
D	20		10
E	20	10	
F	10		20
G	20	10	





